自己評価および外部評価結果

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	⑴	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝理念を唱和しています。職員全員が理念を理解し入居者一人一人の思いに沿う事ができるように取り組んでいます	生活の場として家庭と相違なく、ゆっくりと過ごしてもらいたいという職員の思いで作られた事業所独自の理念をもとに、毎年年度目標を掲げ取り組んでいます。リビングや事務室に掲示にしており、毎朝全員で理念を唱和し、理念の実践を心がけています。	
2	⑵	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育園児や小学生の子供達の来所や保育園の行事への見学、集落の防災訓練の参加、神楽、散歩や商店への買い物など地域との交流を大切にしています	事業所の納涼祭に地域の方に来て頂いたり、ご利用者が縫った雑巾を近隣の保育園や小学校に寄付する活動もしています。また、地域の防災訓練への参加や保育園の運動会やお遊戯会にも参加するなど、地域との交流を深めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区の文化祭に入居者の方々が取り組んだ作品を展示させていただいた。地域の避難訓練に参加しホームの方々を理解し気軽に声かけや助け合いなど行っていただいた		
4	⑶	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市の担当者、地域の代表、ご家族代表、看護師、入居者代表に参加していただき報告や相談、取り組みなど助言や提案をいただきサービスの向上に活かしています	運営推進会議は2ヶ月に1度開催し、市の担当者、地域の代表者、ご利用者代表などの参加していただき、事業所からの報告に加え、参加者からの意見や助言が寄せられています。	
5	⑷	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	電話や来所など隋時の相談や報告を行い指導や助言をしていただいています。	市の担当者には運営推進会議にも参加していただいており、良好な関係を築き、電話や担当者が事業所へ来所するなどの中で、運営に関するあらゆる相談が行われています。	
6	⑸	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が研修やスタッフ会議等で身体拘束について学び、ケアに取り組んでいます	身体拘束は行わない方針のもと、玄関の施錠も夜間のみとなっています。協力病院での研修など職員へも周知徹底を行い、職員全員が身体拘束をしないケアを当然として業務にあたっています。	

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	研修やスタッフ会議等で虐待の防止について学びケアに取り組んでいます	虐待防止に関する講習会へ参加した職員からの伝達研修や協力病院で勉強会が行われており、虐待防止の徹底に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加し伝達を行っている。職員全員が理解し活用できるように今後も研修会や勉強会に参加していく		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解･納得を図っている	入居時に契約書、重要事項の説明を行い疑問、質問等に関しては話合いや、その都度の電話対応も行い納得していただいている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。又、運営推進会議、家族会等での意見交換や来所時に話を聞かせてもらっている。	来訪時の面談や電話連絡による聞き取りに加え、年に1度家族会が行われ幅広く意見や苦情を聞く機会が設けられています。また、年に1度法人にてご利用者･ご家族にもアンケートを実施し、サービスに反映できるよう取り組んでいます。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	隋時のカンファレンスやスタッフ会議を行い職員の意見や提案を検討しています。又、気づきノートを活用しています	毎朝のカンファレンス及び月1回の全員参加のスタッフ会議が開催されています。スタッフ会議では、職員が日頃気づいた内容を気づきノートに記録し、その内容を検討する会議が行われています。人事考課の個別面談も年に2回実施しており、職員の意見を吸い上げられるようにしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境･条件の整備に努めている	職員面談を行い、職員評価シートの提出を行っています。又、努力や実績等をふまえて給与、職場環境改善に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のスキルアップやケアの充実をはかり、職員の希望を取り入れ研修を受ける機会を確保しています		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	村上市GHの管理者による意見交換会に参加。又、職員の交流会に参加しネットワークづくりや勉強会を行い日々の不安や意見を交わしサービスの質の向上に努めています		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の家族と本人との面談で意向や困っている事、不安な事等を確認。又、入居後も様子や会話を通じ信頼関係がきづけるように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の家族と本人との面談で意向や困っている事、不安な事等を確認。又、来所時や電話連絡等を通じ信頼関係が築けるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族とご本人との会話や情報を含め必要としているサービス利用も考え対応できるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩としても尊敬し、貴重な意見を聞きながら、又、信頼関係が築けるように良い関係づくりに努めています		
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族のできる限りの来所を行っていただき本人と家族の変わらぬ関係づくりが継続できるように努めています。又、いつでも電話連絡での対応ができるように努めています	事業所からも毎月のご利用者の様子をまとめたお手紙をお送りしているほか、広報誌も4ヶ月に1度お送りし、ホームでの活動の情報を共有するようにしています。また、ご家族の状況を把握した上で、病院での受診、必要な物の差し入れ、外出や外泊など、ご家族にお願いできるところは役割分担をし、事業所と共にご利用者を支えていく関係が作られています。	

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日常の会話や想いを聞き、生まれ育った場所や嫁いだ場所などにドライブ等ができるように支援しています。又、家族との馴染みの場所や関係が途切れないように支援しています	日常の会話のなかでご利用者の希望を確認し、ご家族の協力も得ながら、ご自宅への外出支援、なじみの美容室への外出支援、外食支援などを行い馴染みの関係が継続できるように支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者一人一人の気持を尊重し助け合い協力できるような雰囲気づくりに努めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人･家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後もご家族やご本人が気軽に来所し相談や来所を楽しんでいく事ができるように話し、支援しています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族に会話や関わりを通じ思いや希望、意向を確認し把握に努めています	ご利用者との日々のコミュニケーションから得た情報を支援経過に記載し、確認した意向については毎朝のカンファレンスにて共有し、支援しています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のご家族からの情報や入居後の本人との会話を通じ情報収集に努めています	入居時にはご家族にもご協力を頂き、ご利用者の生活暦に関する情報提供をしてもらっています。また、3ヶ月に1度フェイスシートの見直しを行い、情報を順次更新し、蓄積されています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人、ご家族との関わりや会話を通じ情報収集しカンファレンスを重ね現状の把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人との関わりの中での気づきや、ご家族の来所時や電話での会話を通じカンファレンスや申し送りノート等で情報を共有し介護計画に反映し作成している	サービス担当者会議にてご利用者、ご家族の要望を汲み入れ、職員の協議の上、介護計画が作成されています。1ヶ月に1度のケアマネージャーによるモニタリングと3ヶ月に1度の担当職員による定期的な見直しが行われています。	調査時点ではケアプランの目標とサービス実施表の目標が連動していないところもありました。このようなズレが起きないように検討されることを期待します。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践･結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や関わりの中での気づきを記録し申し送りノートやカンファレンスで情報を共有し介護計画の見直しを行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々のご本人やご家族の状況に少しでも対応できるように連絡を行い外出や外泊、受診等の支援内容を検討しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事や近隣の子供達との関わりを通じて楽しみを持ち生活しています。又、職員と共に地元の食材を使用し郷土食を作ったりしています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族にかかりつけ医を確認し希望の受診ができるように支援しています。 又、かかりつけ医に本人の状態が伝わるように電話での情報を行っています。	以前からのかかりつけ医を希望される方と協力病院を希望される方と、希望に応じた対応が行われています。受診の際は状況の報告を書面や電話連絡にて医師に行うことで、情報交換が行われています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	一人ひとりの状態の把握に努め申し送りや記録、カンファレンス等で状態を共有し看護師に伝え相談できるように努めています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	隋時、病院の相談員や看護師、医師に状態の確認を行っている。また。ご家族との連絡を行い退院後の支援につなげる事ができるように努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人･家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に看取りについて説明している。ご家族の納得が得られるよう話合いを行い方針を決定しています	契約時にはご家族に事業所の看取りに対する考え方を説明し、ご理解を得ています。また、ご利用者の状態を見ながら必要に応じて、ご家族とも話し合いの機会を設け、適切な支援ができるよう取り組んでいます。	

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師に応急手当や初期対応について相談し学んでいます。また、研修会や勉強会に参加し対応を学んでいます。	週に1度は看護師にも来て頂き応急手当てについても指導をいただいているほか、協力病院にて救命救急の研修が行われ、適切な初期対応ができるようにしています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や災害時等の避難訓練を定期的に行っている。また、地域の避難訓練にも参加し協力体制を築いています	火災、地震を想定した避難訓練や通報訓練を定期的に実施しており、近隣住民の方にも参加していただけるよう声を掛けるなど、協力体制の構築にも努めています。	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員はプライバシーの保護について学び、一人ひとりを尊重し声かけやケアを行っています	個人情報保護の方針と利用目的が事業所に掲示されており、規定に基づいた取り扱いが行われています。また、前回の課題であった広報への写真の掲載についても全てのご利用者に対して同意書を頂いていました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の会話や表情などで思いを聞いたり感じ訴えることができるように声かけや傾聴を行っています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活リズムで食事の時間や起床時間に配慮しています。また、本人の意思を尊重した手作業や体操、歌等の取り組みを行っています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洗顔や髪をとかし、身だしなみを整えその日の洋服選びを一緒に行う等の支援を行っています。また、訪問理容を行っています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	畑でとれた野菜を郷土食や日々の食事に取り入れ職員と入居者の方々が一緒に楽しみながら作っています。又、茶わんふき等の片付けを行っています	ご利用者の状態や気分に応じて準備や後片付けも手伝ってもらっています。また、ホームの畑でじゃがいもやトマトなどの野菜の収穫をご利用者と一緒に行ったり、ご家族の協力を得て外食支援を行うなど、ご利用者に食事を楽しんでもらえるよう取り組んでいます。	

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスのとれた献立を提供しています。また、1回の食事量や1日の水分量の把握や健康観察を行っています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯みがきを行っています。自ら行う事ができない方は介助しています。また、夕食後は入れ歯の洗浄を行うなど一人ひとりに合わせたケアを行っています		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使用し一人ひとりの排泄リズムに合わせて声かけを行っています。 又、排尿の訴えのない方も時間や状況をみてトイレでの排泄介助を行っています	排泄チェックし、排泄パターンを把握することで、オムツや紙パンツの使用を軽減し、トイレでの排泄が行えるよう支援されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を使用し排便の有無の確認を行い起床後の飲水や繊維の多い食事で便秘の予防に努めています。また、廊下の散歩や体操を行っています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日の設定はあるが、希望にも対応しています。又、冬至にはゆず湯にするなど楽しめる工夫をしています	基本的な日程の設定はありますが、ご利用者の意向を尊重し、対応されています。また、入浴を嫌がる方に対しては声かけやタイミングの工夫など、職員間で連携し、無理強いをすることなく、入浴を楽しめる支援が行われています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活のリズムに合わせた起床や就寝を支援しています。その時々の状況に合わせて昼寝や身体を休めるなどの支援を行っています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が一人ひとりの説明書で効能や副作用を確認できるようにファイルを行っています。また、薬の変更時などは申し送りやノートを活用し職員全員が理解できるように努めています		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	朝食後のコーヒーや一人ひとりの特技をいかし雑巾を縫ったり、茶わん拭き、畑や花作りなど楽しみを持てる生活を支援しています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	花見や紅葉狩り、買い物やドライブなどに出かけています。また、家族と家や友達の家などの外出ができるように支援しています	日常的に散歩や買い物などの外出が行われています。また、季節に合わせてお花見や紅葉狩りなど、行事としての外出の支援も地域の方にも参加を呼びかけし行われています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人や家族の希望を確認し必要だと話される方には定額をもっていただいている。 ジュースや飴などの買い物を楽しんでもらっています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な人へ本人が訴えられた時は電話で話ができるように支援しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	浴室入り口には入居者の作ったのれんをかけ、入浴を楽しめる工夫をしています。また、廊下の壁にはその時々の行事を思い出し、楽しめるように展示してあります	白と木目を基調とした室内は清潔感があり、ホールや廊下などに季節を感じさせるご利用者の作品が適度に飾られていることで、季節感や温かみを感じる空間になっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	天気の良い日はテラスの長いすで会話を楽しみ、廊下奥にある椅子で外の景色を眺めることができるように支援しています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具やベットをご家族やご本人の希望に添うように配置し居心地のよい場所となるように支援しています	ご利用者が使い慣れた物を持込んでもらうよう働きかけ、居心地良く個性のある居室になるよう配慮されています。	

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺りの設置やトイレ、洗面所の場所がわかりやすいように工夫しています。見守りや声かけを行い安全に安心した生活が送れるように支援しています		